

# 茨木市全域マップ



豊能町

亀岡市



## 青少年野外活動センター

キャンプエリア(事前申し込みが必要)と自由に入場できるピクニックエリアに分かれており、さまざまな自然体験を楽しむことができます。



## 里山センター

身近な自然に親しむことができるイベントや木工教室などを開催。気軽に自然とふれあえます。



## 生涯学習センターきらめき

和室、陶芸室、アトリエ、多目的スタジオ、ホールなどさまざまな用途に利用できる施設を備え、各種行事や講座を開催・開講しています。



## 大岩いも掘り園

ホクホクとした食感で甘味の強い紅はるかという品種のさつまいもが植えられています。いも掘りのほか、軽食や農産物の販売も行っています。



## 忍頂寺スポーツ公園・竜王山荘

多目的グラウンドをはじめ、テニスコート、ドッグランのほか、遊具を備えたわんぱく広場があるレジャースポット。宿泊施設「竜王山荘」は、合宿、研修などに利用できます。



## 宮本輝ミュージアム (追手門学院大学 附属図書館内)

追手門学院創立120周年事業の一環で、平成17年(2005年)に開館。第一期卒業生で芥川賞作家として活躍する宮本輝氏の愛用品、直筆原稿などを見ることができます。



## 西河原市民プール

レジャー志向のプールで、ウォータースライダーや流水プールなどを備えています。屋内プールは温水プールとして年中利用できます。

箕面市

高槻市



## 茨木市立男女共生センター ローズWAM

男女共同参画社会実現のための拠点施設として、情報の提供、各種講座や相談業務を行っています。館内のホール・会議室は、センターの事業で使用していないときは一般貸出をしています。



## 文化・子育て複合施設おにクル

ホール、こども支援センター、図書館、市民活動センター、プラネタリウムなど様々な機能を備えた複合施設です。



## 岩倉公園

立命館大学大阪いばらきキャンパスに隣接する岩倉公園は、遊具と芝生がありこどもたちに人気の遊び場です。かまどベンチなど非常時に役に立つ設備が整っており、防災公園の役割もあります。



## 水尾公園

アスレチック風的大型遊具がこどもたちに人気の公園です。春は桜の名所として、多くの家族連れなどでにぎわいます。



文化・子育て複合施設おにクル  
・こども支援センター  
・おにクルぶっくばーく  
・市民活動センター  
・きたしんプラネタリウム

合同庁舎  
・消防本部・消防署  
・人権センター

## サン・チャイルド

阪急南茨木駅前に立つ現代美術作家ヤノベケンジ氏が制作したモニュメント。東日本大震災からの復興への希望が込められています。





# 茨木市のあゆみ

## 先史～近世

茨木市域に人々の活動のあとがうかがえるのは、今から1万年以上も前の旧石器時代。つづく縄文時代の後半や弥生時代には、多くの人々が生活し、その跡が残されています。なかでも東奈良遺跡から発見された銅鐸の鋳型は有名です。また、古墳時代の初めから終わり頃までの各時期の古墳が数多く残されています。

戦国時代には本市繁栄の基礎となる茨木城が築かれたと考えられています。

江戸時代になると参勤交代などで大名らが郡山宿本陣（椿の本陣）を宿泊に利用しました。今も、西国街道沿いに建つ本陣は、往時の面影を残しています。

明治4年（1871年）には、廃藩置県のものち、大阪府の管轄となり、その後の郡制の実施で、明治31年（1898年）、三島郡に属しました。同年10月、茨木村は茨木町となり、その中心地として栄えました。

昭和23年（1948年）1月、茨木町・春日村・三島村・玉櫛村の1町3村が合併し、茨木市は誕生しました。その後、8か村の合併、編入を経て、現在に至っています。

## 昭和

- 昭和23年（1948年）  
1月1日 茨木町・春日村・三島村・玉櫛村の1町3村が合併し、市制を施行  
8月 市歌を制定  
10月 茨木市消防本部・消防署設置
- 昭和25年（1950年）  
1月 元市庁舎開庁式【▶写真①】
- 昭和27年（1952年）  
2月 茨木市立図書館が府立ブックステーションとして発足  
10月 市民病院開院（昭和39年6月廃止）
- 昭和29年（1954年）  
2月 安威村・玉島村を合併
- 昭和30年（1955年）  
4月 福井村・石河村・見山村・清溪村を合併
- 昭和31年（1956年）  
11月 財政再建団体の指定を受ける  
12月 箕面市の一部（旧豊川村の東部）を編入
- 昭和32年（1957年）  
3月 三宅村を合併
- 昭和38年（1963年）  
7月 名神高速道路が開通
- 昭和39年（1964年）  
4月 人口10万人を超える

- 昭和41年（1966年）  
5月 赤字財政全額解消（16年ぶり）  
11月 市民憲章を制定
- 昭和42年（1967年）  
11月 市の木カシと市の花バラが決まる
- 昭和43年（1968年）  
6月 市旗制定  
市庁舎第1期工事完成  
8月 市民プール（現中条市民プール）オープン
- 昭和44年（1969年）  
6月 人口15万人を超える  
市民会館（ユアaihール）完成  
10月 ノーベル文学賞作家川端康成氏に名誉市民（第1号）の称号を贈る【▶写真②】
- 昭和45年（1970年）  
2月 国鉄（現JR）茨木新駅舎完成【▶写真③】  
3月 阪急南茨木駅が完成  
万博博覧会で国鉄（現JR）・阪急両駅が東の玄関口として利用される【▶写真④】
- 昭和48年（1973年）  
11月 東奈良遺跡から銅鐸（どうたく）の鋳型発見（国の重要文化財に指定）
- 昭和49年（1974年）  
5月 市庁舎（第2期工事）完成  
10月 移動図書館ともしび号スタート
- 昭和50年（1975年）  
4月 人口20万人を超える  
7月 31万平方メートルの青少年野外活動センターオープン
- 昭和52年（1977年）  
12月 保健医療センターオープン
- 昭和53年（1978年）  
2月 市民体育館オープン
- 昭和55年（1980年）  
8月 全国初の溶融式ごみ処理施設稼働  
10月 アメリカ・ミネソタ州ミネアポリス市と姉妹都市を提携
- 昭和56年（1981年）  
7月 第二市民プール（現五十鈴市民プール）オープン
- 昭和58年（1983年）  
4月 第二市民プール（現五十鈴市民プール）に温水プールオープン
- 昭和59年（1984年）  
3月 茨木市立文化財資料館オープン  
12月 非核平和都市宣言
- 昭和60年（1985年）  
3月 上中条青少年センターと茨木市立川端康成文学館完成  
10月 中国・安徽省安慶市と友好都市を締結  
12月 茨木市立斎場（告別式場棟）オープン
- 昭和61年（1986年）  
6月 人口25万人を超える
- 昭和62年（1987年）  
9月 茨木市立キリシタン遺物史料館オープン
- 昭和63年（1988年）  
7月 忍頂寺スポーツ公園オープン  
10月 香川県内海町（現小豆島町）と姉妹都市を提携  
11月 ソウルオリンピック銀メダリストの長谷川智子さんに市民栄誉賞贈呈



## 平成

- 平成元年（1989年）  
10月 市民総合センター（クリエイトセンター）オープン
- 平成2年（1990年）  
4月 初の市民さくらまつり開催【▶写真⑤】  
生涯学習センター開設  
6月 大阪モノレール（南茨木～千里中央駅間）開業
- 平成3年（1991年）  
5月 健康増進センターオープン  
忍頂寺スポーツ公園内に宿泊施設「竜王山荘」オープン
- 平成4年（1992年）  
4月 茨木市立中央図書館と富士正晴記念館オープン
- 平成5年（1993年）  
7月 西河原市民プールオープン
- 平成6年（1994年）  
4月 若園公園バラ園オープン  
10月 福井市民体育館オープン
- 平成7年（1995年）  
1月 阪神・淡路大震災発生  
3月 人権擁護都市宣言
- 平成8年（1996年）  
3月 障害福祉センターハートフル完成
- 平成9年（1997年）  
6月 市庁舎南館完成
- 平成10年（1998年）  
7月 目垣遺跡から弥生時代中期の人面付土器が出土  
10月 大阪モノレール彩都線（万博記念公園駅～阪大病院前駅間）開業  
11月 生涯学習都市宣言
- 平成11年（1999年）  
4月 東奈良遺跡から最古級の小銅鐸が出土

## 2000年代

- 平成12年（2000年）  
4月 茨木市立男女共生センターローズWAMオープン
- 平成13年（2001年）  
4月 特例市となる
- 平成15年（2003年）  
2月 東市民体育館オープン
- 平成16年（2004年）  
4月 彩都（国際文化公園都市）まちなびらぎ記念式典開催  
12月 茨木市立生涯学習センターきらめきオープン
- 平成17年（2005年）  
4月 観光協会設立  
8月 子育て支援総合センターオープン
- 平成18年（2006年）  
10月 市民活動センターオープン
- 平成19年（2007年）  
3月 大阪モノレール彩都線（阪大病院前駅～彩都西駅間）開業
- 平成20年（2008年）  
11月 北京オリンピック金メダリストの石井慧さんに市民栄誉賞贈呈
- 平成22年（2010年）  
4月 南市民体育館オープン

- 平成23年（2011年）  
11月 「女性化学賞」を受賞した相馬芳枝さんに市民栄誉賞贈呈
- 平成24年（2012年）  
9月 大分県竹田市と「歴史文化交流パートナーシップ宣言」を宣言  
11月 バス歌手の岸本力さん、プロゴルファーの故杉原輝雄さんに市民栄誉賞贈呈
- 平成25年（2013年）  
6月 市役所内にバスポートセンターを開設  
11月 プロゴルファーの井戸木鴻樹さんに市民栄誉賞贈呈  
大分県竹田市と歴史文化姉妹都市を提携
- 平成27年（2015年）  
4月 立命館いばらきフューチャープラザオープン  
岩倉公園オープン  
12月 市民会館を閉館
- 平成28年（2016年）  
10月 キラリいばらき大賞を創設  
リオデジャネイロオリンピックに出場したシンクロナイズドスイミング銅メダリストの吉田胡桃さん、中牧佳南さん、リオデジャネイロパラリンピックに出場した陸上選手の芦田創さん、和田伸也さん、野球の国際大会U18アジア選手権に出場した寺島成輝さんに同賞を贈呈  
11月 リオデジャネイロオリンピックレスリング銀メダリストの樋口黎さんに市民栄誉賞贈呈  
JR茨木駅東口広場の愛称がいばらきスカイバレットに【▶写真⑥】
- 平成29年（2017年）  
1月 郡・倍賀遺跡から弥生時代中期の人形土製品が出土【▶写真⑦】  
2月 市のブランドメッセージ（ロゴ）が「次なる茨木へ。」に決定  
8月 中河原遺跡から複数の高床建物が描かれた弥生時代中期の土器が出土【▶写真⑧】  
12月 新名神高速道路「茨木千提寺インターチェンジ」が供用開始

- 平成30年（2018年）  
3月 JR総持寺駅が開業【▶写真⑨】  
6月 大阪北部地震が発生
- 平成31年（2019年）  
3月 第18回アジア競技大会・トリアスロンで優勝した古谷純平さんにキラリいばらき大賞を贈呈

## 令和

- 令和元年（2019年）  
5月 総持寺が日本遺産に  
9月 オール茨木ロケ映画「葬式の名人」が全国公開
- 令和2年（2020年）  
2月 履正社高等学校硬式野球部にキラリいばらき大賞を贈呈
- 令和3年（2021年）  
4月 東保健福祉センターオープン  
11月 東京パラリンピック2020銀・銅メダリストの和田伸也さんに市民栄誉賞贈呈
- 令和4年（2022年）  
4月 西・南保健福祉センターオープン
- 令和5年（2023年）  
4月 中央保健福祉センターオープン  
11月 文化・子育て複合施設おにクルオープン
- 令和6年（2024年）  
3月 安威川ダム完成式典  
4月 ダムパークいばきたオープン

